

(別紙様式2)

普及指導員調査研究報告書

課題名：大豆の冠水ほ場における技術対策の指導

山口農林事務所農業部 担当者氏名：村田悠介、嶋屋晋

<活動事例の要旨>

平成25年産大豆の栽培ほ場の生育調査を行い、生育状況に応じた情報提供、栽培技術指導により、収量・品質の向上を図る。

1 普及活動の課題・目標

7月28日豪雨災害において採種ほ場が被害を受けた。そこで採種ほ場の被害状況を確認し、状況に応じた栽培指導を行うことによって、平成26年産用種子をできる限り確保することとした。

2 普及活動の内容

(1) 7月28日豪雨災害採種ほ場

- ・ 山口市阿東徳佐

(2) 指導内容

- ・ 被害状況の確認(7月31日)



- ・ 技術指導の実施

○排水対策の徹底

大豆の根と根粒の呼吸作用を回復させるため、早急に排水対策を徹底する。

○中耕

冠水・土砂流入により土壌表面が固くなっており、通気性が悪くなっているため、圃場の条件が良くなってから早急に中耕を行う。

○追肥

生育回復のため、中耕と同時に窒素成分で 4~5kg/10a 程度の追肥を行う。

○病虫害対策

防除時には、散布量を多くし、茎葉についている土等を洗い流すようにする。

3 普及活動の成果

(1) 被害対応状況

	水害対応(中耕・追肥)		
	実施日	施肥実績	
種子(被害少)	8月20日	N:0.8kg/10a	硫安(4kg/10a)
種子(被害大)	8月21日	N:0.8kg/10a	硫安(4kg/10a)

(2) 調査結果

平成25年産大豆調査結果							
品種	場所	区分	平均条間 (cm)	栽植密度 (・/㎡)	播種日 (月日)	開花日 (月日)	成熟期 (月日)
サチユタカ	阿東徳佐	種子(被害無)	75	18.0	6月6日	7月23日	11月16日
		種子(被害少)	75	18.0	6月5日	7月23日	11月22日
		種子(被害中) フォアス	75	17.3	6月8日	7月23日	11月14日
		種子(被害大)	75	15.3	6月5日	7月23日	11月28日
阿東サチユタカ平年値			76	17.7	6月5日	7月25日	10月29日
品種	場所	区分	主茎長 (cm)	総節数 (節/個体)	分・数 (・/㎡)	総莢数 (莢/㎡)	稔実莢数 (莢/㎡)
サチユタカ	阿東徳佐	種子(被害無)	53	30.2	34.7	718	659
		種子(被害少)	45	29.6	46.7	663	605
		種子(被害中) フォアス	43	25.8	49.3	647	599
		種子(被害大)	39	28.0	36.7	395	355
阿東サチユタカ平年値			51	25.2	59.2		712
品種	場所	場所	粗子実重 (kg/10a)	精子実重			百粒重 (大) (g)
サチユタカ	阿東徳佐	種子(被害無)	210	大粒 (kg/10a)	中粒 (kg/10a)	合計 (kg/10a)	34.2
		種子(被害少)	172	174	30	204	32.1
		種子(被害中) フォアス	162	135	32	167	28.8
		種子(被害大)	93	82	65	146	31.0
阿東サチユタカ平年値			361	311	34	324	32.5

※平年値はH20～24産の平均値

(3) 採種ほ場の結果

ほ場面積 (a)	採種実績(kg)		単収 (kg/10a)
	合格 (大)	準1 (中)	
490	5,580	1,530	145

4 今後の普及活動に向けて

災害ほ場での対応を踏まえて、気象状況に対応した適切な技術指導により安定生産をめざす。

また、慣行ほ場に比べると FOEAS ほ場では収量が低いことから、要因を調査し収量回復を目指す。